

令和4年度

授業改善推進プラン

国立市立国立第二中学校

【学校版】令和4年度授業改善推進プラン

◆各教科①指導方法の課題分析、②具体的な授業改善策及び③個に応じた指導の充実のための方策について◆

教科	①指導方法の課題分析	②具体的な授業改善策	③個に応じた指導の充実
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 話す・聞く・書く・読むことの基本的理解の指導。</li> <li>* 読解力、表現力を高める指導。</li> <li>* 目標やねらいの明確化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 導入や発問の工夫、流れや活動内容の明示。</li> <li>* ワークシートの工夫。 (論理的思考をさせる工夫)</li> <li>* 思考力・表現力を高める課題作文や発表のテーマ設定の工夫。</li> <li>* グループ学習の工夫。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ケースに応じた補習教室や質問教室の実施。</li> <li>* 机間指導による個別支援の充実</li> <li>* 十分な添削指導。</li> <li>* 感染症対策を徹底した上でグループ学習による学び合いの導入。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 生徒の実態に即した学習課題の設定。</li> <li>* 生徒が主体的に取り組める授業形態の構築、および学習方法の習得。</li> <li>* 資料活用問題への思考力を高める指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 個人学習と感染症対策を徹底した上でペアグループ学習を行う。</li> <li>* 思考力・判断力・表現力を育てる課題の設定と、学習方法の習得。 (課題解決型の授業展開)</li> <li>* ワークシートの構成の工夫。</li> <li>* ICTや映像などの視覚教材の積極的な活用。</li> <li>* 副教材の積極的な活用による資料活用能力の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 感染症対策を徹底した上でペアグループ学習による「学び合いの授業」を行う。</li> <li>* 多様な問題演習の繰り返しによる思考力の強化。</li> <li>* インクルーシブの視点に寄り添ったプリントの工夫。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業規律の確立。</li> <li>* 家庭学習の定着。</li> <li>* 自ら学ぶ態度を育て、基礎・基本を定着させる指導。</li> <li>* 基礎・基本を定着させ、見方、考え方を高める個に応じた指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業用プリントを工夫する。</li> <li>* 授業の中で学習内容の確認や振り返りを都度行い、授業内で疑問が解消できるようにする。</li> <li>* ICT、デジタル教科書を活用する。</li> <li>* 感染症対策を徹底した上でグループ学習を行う。</li> <li>* 習熟度別少人数クラスを編成することにより、個に応じた学びを進め、理解を深められるようにする。</li> <li>* 反復学習により、知識・技能の定着を図る。</li> <li>* 生徒自身が説明する場面を増やし、数学的用語の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ケースに応じた補習教室や質問教室を実施する。</li> <li>* 課題量を調整する。</li> <li>* 習熟度に応じた問題演習と個別支援を充実させる。</li> <li>* 机間指導を適宜行い、適切な指導、助言等を行う。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習目標の明確化と提示。</li> <li>* 課題解決学習の手法を取り入れ、探究する力、科学的思考力、表現力を育成する指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 板書の工夫などを行い、学習目標を明確に提示する。</li> <li>* 学習内容と日常生活での経験とをリンクさせ、理科を身近に感じられるようにする。</li> <li>* グループでの学習を取り入れ、学び合いの中で理解を深める。</li> <li>* 観察・実験を可能な限り多く取り入れ、主体的に課題を解決できるようにしていく。</li> <li>* 演示実験、ICTの活用を進め、興味・関心をもって学習できるようにする。</li> <li>* 個人・グループ・全体での課題解決学習の手法を取り入れ、探究する力、科学的思考力、表現力を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 生徒の疑問を大切に学習が深まるように支援していく。</li> <li>* 観察・実験を可能な限り取り入れ、体験の中から深く考え、理解することを進めていく。</li> <li>* 興味・関心を高めたり、発展的な学習を行ったりするためにICTや演示実験などを多く取り入れる。</li> <li>* レポート、グループ内発表、クラス発表等を活用して表現力を高める。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎・基本の定着。</li> <li>*表現力の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症対策のため、クラスを半分に分けて二部屋で間隔をとり、練習する。</li> <li>*今まで口頭で伝えていた表現に関する部分をプリントで配り、分散してもパートリーダーが指導できるようにする。</li> <li>*歌のテストを今までより少人数で行う。</li> <li>*表現の違いや工夫に焦点を当てた鑑賞の指導を通して、自身の表現に生かすことができるようにする。</li> <li>*話し合いの時間を設け、他者の考えや意見を知ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*練習時に個々にアドバイスをする。</li> <li>*できるだけお互いの演奏を聴かせ、感想を発表する。その際に個々に良かった点をアドバイスする。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎・基本の定着。</li> <li>*自分の感じ方や価値観・個性を大切にし、作りかえ作り出す、意欲的に取り組む指導の工夫。</li> <li>*教え合い、学び合いができる雰囲気づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症対策を講じながら、個人の感じたことと他者が感じたことをシェアし、多様な表現を実感的に味わうことができる雰囲気を作る。</li> <li>*題材の目標や、育成する資質能力・授業の目標を明確化する。</li> <li>*個人で考えたり活動したりする時間を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症予防対策を講じた上で、個々の制作進度に応じた個別指導の充実。</li> <li>*互いに作品を鑑賞し、造型的な視点をもとに自分の価値観を大切にして感じたこと意欲や自信につなげていく。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎・基本の徹底。</li> <li>*生徒が意欲的に取り組める指導の工夫。</li> <li>*目標の明確化。</li> <li>*課題について考える指導の工夫。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションの充実</li> <li>・場面による声かけ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自主的に取り組む姿勢の育成。</li> <li>*わかりやすい授業の工夫改善。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元、毎時間の目標の明確化。</li> <li>・学習カードの内容の改善。</li> <li>・意図的な発問の工夫。</li> </ul> </li> <li>*視覚的な説明の工夫。</li> <li>*教え合いや見つけ合いの活動を多く取り入れる。</li> <li>*振り返りの時間の確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*活動の中で生徒の疑問や課題を拾い上げ、生徒に対して適切な指導を行う。</li> <li>*発育段階に即した指導を行う。</li> <li>*ICTの活用を行う。</li> </ul>
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎・基本の定着。</li> <li>*意欲をもたせ、日常生活に活かそうとする力の指導。</li> <li>*作品を完成させ、達成感を味わわせる指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症予防対策を講じた上で、作業学習やグループ学習を行う。また教材の精選をして、効率よく作業時間を増やしていく。</li> <li>*目標を明確にしつつ、日常生活との関連性を高めた分かり易い授業を展開する。</li> <li>*ICTや実物を用いて視覚的な説明の工夫をすることで、完成へ向けて意欲的な態度を養う。</li> <li>*活動のながれを明示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症予防対策を講じた上で、個々の作業進度に応じた個別指導の充実と、グループ学習での学び合い。</li> <li>*ケースに応じた補習教室や質問教室の実施。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎・基本の定着。</li> <li>*コミュニケーション活動の充実。</li> <li>*授業のねらいと流れの明確化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎・基本の定着を図るための指導法の工夫、改善。</li> <li>*パワーポイントやデジタル教科書、クロームブックなどICT機器を活用する。</li> <li>*感染症予防対策を講じた上で、ペアワークやグループワーク等の活動、パフォーマンステストを取り入れる。</li> <li>*習熟度の混在した少人数指導を行うことにより、教え合いや学び合いをやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症予防対策を講じた上で、ペアやグループ学習による教え合い、学び合いの導入。</li> <li>*少人数指導の充実。</li> <li>*授業のねらいの明確化。</li> </ul>

A組	<ul style="list-style-type: none"> <li>*情緒の安定。</li> <li>*人間関係を築く力。</li> <li>*自己理解と他者理解。</li> <li>*自ら学ぶ意欲を育てる。</li> <li>*自分の行動を自ら決定する力。</li> <li>*同時・継次・計画・学習処理能力を活かした長所活用型指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*A組で安心して授業に取り組めるように、個別指導や小集団指導など授業形式を十分考えて、指導を行う。</li> <li>*他者理解のために話し合い活動を多く取り入れる。</li> <li>*ICT やイラストを取り入れて端的に説明する。</li> <li>*「聞く力」の重要性を伝え、授業に集中させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*生徒との信頼関係を築く。</li> <li>*できていることやプロセスを褒め、やる気を引き出す。</li> <li>*生徒の特性に応じた指導を行う。</li> <li>*見通しやねらいを明確にして、繰り返すことによって汎化させる。</li> </ul>
かがやき	<ul style="list-style-type: none"> <li>*心理的な安定。</li> <li>*人間関係を築く力。</li> <li>*コミュニケーション能力の向上。</li> <li>*長所を生かした指導。</li> <li>*自己理解と他者理解。</li> <li>*学びに向かう主体性の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*在籍学級の活動に、より一層主体的に取り組めるように、「かがやき」で心理的な安定を図りながら授業内容や授業形式を十分考えて、個々の課題に沿った指導を目指す。</li> <li>*WISC - IV等の心理検査の結果や、保護者や担任等から得た情報をもとにアセスメントを行い、生徒の特性に応じた指導・支援や教材作りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*生徒との信頼関係を築く。</li> <li>*生徒の特性に応じた指導・支援を行う。</li> <li>*見通しやねらいを明確にして、繰り返し学習を行うことによって熟達や汎化を目指す。</li> </ul>